



ラティーフ大臣⑤と阿部文科大臣

エジプト教育大臣が表敬 阿部文科相「両国の関係深化」

TICAD9に先立つ8月19日には、文部科学省とエジプト教育・技術教育省間における、教育協力と人材育成に関する意向表明書署名式が文科省内で行われた。文科省からは

阿部俊子大臣、エジプトからはアブデル・ラティーフ大臣が出席して署名した。

主な協力分野は①エジプトにおける日本型教育の発展促進②技術・職業教育訓練の強化③科学・技術・工学・数学(STEM)教育の推進④特別支援教育を含む、包摂的かつ公平な質の高い教育の促進⑤両国の教育開発に資するその他の分野——。署名後の懇談で、阿部文科大臣は「TICAD9が開催されるこのタイミングで署名できたことを心から喜ばしく思う。『特別活動』を中心とした日本型教育を実践するエジプト日本学校(EJS)への支援、職業教育、特別支援教育をはじめとした分野において協力を進め、定期的に政策対話などを実施しながら、両国の関係を深化させていきたい」などと述べた。

阿部大臣は今年5月、TICAD9への連携協力を求めるため、エジプトとガーナを訪問。エジプトでは、ラティーフ大臣と懇談したほか、EJSなどを視察した。ラティーフ大臣は、訪問に謝意を示し、「エジプトにおける日本式教育は成功している。今後、アフリカ諸国に紹介していきたい」と語った。

署名後、意向表明書を掲げる(左から)井本JICA理事、ディ
アガナ世銀西部・中部アフリカ地域担当副総裁、阿部大臣

アフリカ開発をテーマとする国際会議「アフリカ開発会議」(TICAD)が8月20、21、22日の3日間、横浜市内で開催された。1993年の第1回会議以来、日本政府が主導して開催しており、今回で9回目。アフリカ各国の首脳や国際機関、企業関係者が参加し、日本との経済協力や開発援助、アフリカが抱える課題等について幅広く議論を行った。

(39頁に関連記事)

アフリカと日本の大学間の交流促進へ

阿部文科大臣、「TICAD9」各イベントに参加

科学省関連イベントも数多く行われた。20日には、国際協力機構(JICA)主催のイベントがあり、阿部俊子大臣が出席。文科省とJICA、世界銀行の3者間で、「アフリカにおける高等教育の卓越拠点支援に関する意向表明書」の署名式が執り行われた。

アフリカ大陸における高等教育の発展が、経済成長・社会的発展・イノベーションの基盤として極めて重要であるとともに、高品質な高等教育機関の育成が、アフリカ諸国の自立的发展、持続可能な将来及び国際社会全体にとつて不可欠であるとの認識の下、今後、▽人的交流の促進▽研究力の強化▽産業対応型人材育成——について協力して進めるとしている。署名後、阿部大臣が英語でスピーチし、「アフリカと日本の大学がネットワークをさらに強化するよう、活発な議論が行われることを期待している」と語った。



TICAD9開催前に、JICAの田中明彦理事長は次のようにコメントを寄せている。「日本とアフリカは対等なパートナーとして、ともに学び、問題解決に立ち向かい、そして未来を切り拓く関係にありたい。世界は今、複合的な危機に見舞われています。この困難な課題に直面するときに、日本とアフリカが手を携えて、ともに共創し、発展していくことを願って止みません」